

# 「リスクマネジメント研修会・情報交換会」 研修について

■ 日時 令和2年10月6日(火) ■ 場所 ホテルモンテ京都  
■ 講師 TKC全国会 リスクマネジメント制度推進委員長 中嶋 司先生

TKC近畿京滋会 リスクマネジメント推進副委員長 村尾 耕司

さる令和2年10月6日に、年に一度の「リスクマネジメント研修会・情報交換会」が開催されました。講師には、昨年に引き続きTKC全国会リスクマネジメント制度推進委員長の中嶋司先生をお招きして「TKCリスクマネジメント対話ツールの活用による関与先の事業継続力強化支援について」というテーマでご講演頂きました。研修内容としましては、下記の様になります。

世界的に拡大する感染症や巨大自然災害による被害等のさまざまなリスクに備え、中小企業においては「事業継続力」を高めることが今求められています。

新型コロナウイルスだけでなく自然災害や訴訟・損害賠償問題、主要な得意先の倒産などにより、企業の事業停止につながることもあります。特に中小企業の場合、事業停止が長期化すると企業存続にかかわる大きなダメージとなります。そうなると多くの中小企業にとって当面の資金繰り対策に取り組むことが最重要課題となってきます。

そのために、リスクに見合った損害保険に加入する必要があります。中小企業白書でも自然災害で被災した企業の復興において損害保険が活用されたことが示されています。企業自身があらゆる災害から自らを守るためには保険契約は重要であり、その保険料は事業継続の原価であることを認識しなければなりません。

しかし、保険料の安さのみにとらわれ補償内容を十分確認せず契約するなど、保険本来の機能を十分認識していない場合があります。保険料を事業継続の原価であることを認識していただき、経営計画に保険料を費用として織り込むことを指導することが必要となります。

そのために、リスクマネジメント対話ツールを活用して、関与先のリスクの実態を把握し、対応を検討することで、関与先の事業継続力の強化を支援しましょう。

というのが研修内容となります。

私自身、関与先のリスクの洗い出し・提案をしているつもりでしたが、今回の研修会で認識不足な点が確認できました。今後の提案に活用できればと思っております。



リスクマネジメント研修会・情報交換会の様子



講師 中嶋 司先生